

佐賀市議会議員 自由民主党 たか ひろ

いなば 嵩広

ごあいさつ

みなさま、こんにちは！今年短い梅雨が明け、例年以上に厳しい暑さが続きそうです。また、これからの季節で気になるのは豪雨や長雨による災害です。坂井市長が就任され、まず取り組んだのが「災害対策」です。災害対策は令和25年までの長期計画ですが、今まで行ってきた対策や、新たに取り組んだ対策がどれほど効果を発揮するか議会としても注視をしなければなりません。

また、ロシアによるウクライナ侵攻や米国の国債金利上昇による円安などで足元の物価が上昇しています。海の外の出来事が私たちの生活にも影響を及ぼし始め、地方自治体としても市民の生活を守る施策が必要になってくるはずです。



佐賀市6月定例会のご報告

6月2日に開会しました6月定例会では主に補正予算の審議と請願書の採択を行いました。補正予算は「地方創生臨時交付金」を財源とし、新型コロナウイルスへの対応であれば、各地方公共団体が自由に使う事ができるものとなっています。佐賀市では主に観光商品の開発支援事業や農業経営者を守る、農業経営収入保険制度への加入支援事業、物価高による保育施設等での食材費上昇率8%相当額を支援する事業などを審議しました。

令和4年度6月定例会補正予算 主な事業

観光需要回復に向けた商品開発支援事業(経済部) 6,475万円

コロナ禍により大幅に落ち込んだ観光需要が今後回復していくことを見据え、佐賀市ならではの観光資源を活かした観光商品の開発及び販売の支援に要する経費

農業経営収入保険制度加入支援事業(農林水産部) 2,800万円

収入保険は自然災害や価格低下など農業経営者の経営努力では避けられない収入減少を補填する国の制度への加入に掛かる保険料4/5(上限10万円)を補助する経費

保育施設等給食物価高騰等対策経費(子育て支援部) 6,099万円

コロナ禍での物価高騰の中、保護者の負担を増やさずに給食を提供するため、市内の保育施設等へ食材費の上昇率8%相当額の支援に要する経費

一般質問

「持続可能な市政へ自主財源拡大を！」

佐賀市は人口減少による税収の縮小と少子高齢化による福祉予算の拡大によって極めて難しい財政運営が求められることが予想されます。本市は人口減少を克服し、それにより歳入の拡大を図り、持続可能な市政運営に努める方針を掲げております。今回の一般質問では、その取り組みは十分であるか質問を行いました。

問

自主財源拡大に向けての取り組みは？

行政経営推進プランで「増やす改革」を掲げ、人口減少を克服し、歳入を増やすために市税収納率の向上や広告収入、市有財産の売却などを行っている。

答

問

人口減少問題の克服とあるが、掲げている目標を達成出来ていないが取り組みは十分か？

新型コロナウイルスの影響もあり、達成状況は減少している。今後更なる取り組みが必要であると考えている。

答

問

域外から資出の流入を図る観光産業は自主財源拡大に有効であるが取り組みは十分か？

集客力のあるイベントや通年の来客を呼び込む商品開発に取り組んでいく。またインターネットメディアを活用しPRに取り組む。また、今後の為にデータ収集にも取り組んでいく。

答

その他の質問

将来への投資としての子ども政策の拡充について

水害対策調査特別委員になりました！

佐賀市では毎年のように豪雨災害に悩まされております。議会では佐賀市の内水氾濫による災害の特別委員会を設置し、委員会のメンバーになりました。本市では排水対策基本計画を令和2年に策定し、短期・中期・長期対策に取り組んでいます。その取り組みが十分なのか、市民の声は反映されているのかなど、市民の代表である議会だからこそ出来る意義のある特別委員会になるよう、精一杯取り組んでまいります。



佐賀市の水害対策は排水基本計画に沿って行われています。現在は中期計画に取り組んでおり、日新校区においては地藏川の河川改修が行われています。これにより日新校区西部の水害の軽減が期待されます。また、日新校区東部は佐賀城濠の事前排水が今年度より実施され、これにより多布施川の水位上昇が抑制され、水害の軽減が期待されています。

信号機のない横断歩道に注意喚起対策を！

日新校区内の国道207号線（貫通道路）には信号機のない横断歩道があり、事故が少なくありません。その中でも西田代のセブンイレブン前の横断歩道は街路樹が視界を妨げ、歩行者が見え辛い状況でした。そこで校区自治会町と町区自治会町のご協力の元、佐賀県警に注意喚起対策の要望書を提出しました。その要望を受け、注意喚起の看板の設置と横断歩道に反射材の設置を行い、昼夜における注意喚起対策を行う返答を頂きました。工事はまだ始まっておりませんが、1日でも早い着手を期待しています。



佐賀土木事務所より示された対策案。昼間の注意喚起だけでなく、夜間（雨天時）の視認性向上により昼夜を通しての事故軽減が期待されます。

いなば嵩広の佐賀市探訪

今回の佐賀市探訪は大和にある「道の駅大和そよ風館」を訪れました。中心市街地から車でわずか30分ほどで自然を味わう事が出来、佐賀市の素晴らしさを改めて感じる事が出来ました。佐賀市には三瀬や古湯・熊野川温泉など豊かな自然を活かした観光資源があります。それらの観光資源を活かして誘客を促進するにはどうすれば良いのか？そんな事を日々考えている今日この頃です。



佐賀市議会議員

たか ひろ
いなば 嵩広

〒840-0045 佐賀市西田代 2-1-9

TEL 0952-77-0836

WEB サイト



LINE



プロフィール

- ・1985年10月31日生まれ 東京都出身 成蹊大学法学部法律学科卒業。大学卒業後、リグナ株式会社というネット通販会社で経験を積む。
- ・その後、インテリア関係の商社、株式会社ジェイ・シータウン(主な取引先：株式会社飯田産業、防衛省ほか)にて多くの業務に取り組む。
- ・佐賀市西田代出身の妻と結婚した事で、佐賀にご縁を頂き、佐賀で子育てをしたいと妻に相談をし、4年前に移住。8歳の長女と5歳の次女、2歳の長男の子育てで真最中！
- ・掃除や洗濯、お皿洗いなどの家事が日課で、休日は料理を担当することも。得意料理はパスタ全般。趣味は読書、料理、キャンプ、ランニング(桜マラソン2度の参加&完走!)

